

「さあ、みんな、考えよう」

差別の火を1つずつ消している生徒たちの行動と思いに学ぶ

～ 人を差別する言葉や態度を「なくしますか?」「残しますか?」～

今、伊賀市内の小中学生が今までの人権学習で身につけたことをもとに日常生活のなかで、思いを持って行動していることの1つが、「差別を放っておかない・残さない・ちゃんと注意する」ことです。みなさんは、今までに「きちがい」「つんぼ」などのことばを聞いたたり、つかったりしたことはありませんか。これらは、障がいのある人を差別することばです。この言葉がつかわれている状況では差別的につかわれています。「きちがい」という言葉をつかってしまったある人にその言葉のイメージを聞くと、「人と違っていることをしている人」「場の雰囲気を感じず大声でおかしなことをしゃべっている人」という答えが返ってきました。意識してか無意識かに関わらず「気が違っている＝きちがい」というイメージで、時には精神障がいがある人に例えたようにして、ほめ言葉としてではなく、ひとを見下しバカにする言葉として「きちがい」などのことばがつかわれることがあるようです。これは、目の前の相手を傷つけるだけでなく、その場になくても、障がいのある人を傷つけることにもなります。みなさんのまわりでは、そのことに気づかず、また、このことに思いをはせることなく、この言葉が発せられていませんか。この言葉を聞いてもスルーしていませんか。

生徒たちは、この言葉をきいたとき、「今、何て言った?その言葉を聞いたなら、目の前の人だけでなく、悲しい思いをする人がいることに気がつかない?。その人が目の前にいてもいなくても差別やで」と、自分が聞いた差別の言葉をスルーせず、説明し、注意して、自分がであってしまった差別の火をちゃんと消しています。

伊賀市では、学校現場で年間100件を超える差別発言が起こっているということを聞いたことがある人もいます。残念ながら差別発言が起こっています。なんとかしていかなくてはならない問題です。しかし地区懇談会や講演会でこの数を聞いて、「学校ではたいへんなことが起こっている」と学校現場だけで起こっている問題のようにとらえている人はいないでしょうか。

ある運動家の方が言われました。「生徒たちは差別発言をスルーしないで、年間100件を超える差別の火を消している」その方は、「100件を超える数字は、差別を見過ごさず、ちゃんと差別に対して行動を起こし、説明し、差別の火を消した数です。差別に気づき、スルーせずにちゃんと注意をして差別の火を消そうとした生徒や先生が伊賀市の中にたくさんいるということです。」と言われました。みなさんの周りにはこれらの差別の言葉はありませんか。自分のもとより、家族や近所の人、仕事場の人などがそれらのことばをつかっていたら、ちゃんと注意して、説明し、差別の火を消していますか。残念ながら、学校現場で起こった差別発言での聞き取りの中で、そのことばをどこで聞いて覚えたかという質問に対する答えに、「家庭で」「地域のなかで」「社会体育の中で」などが少なくない現実があります。大人社会のなかでつかわれていることばを覚えてつかってしまい、それを学校で生徒たちがなかまたちに対して注意してなくしているという現実もあります。

差別は放っておけば、差別を残すことになります。子どもたちは人権学習のなかで、差別は「す

る」「しない」の問題ではなく、自分は差別を「なくすか残すか」でとらえ、自分は差別をしていないと思っても、差別を見過ごして差別を残しているのも差別をしていることになると考え、「ちゃんと注意する」「ちゃんと説明する」行動をとっています。この子どもたちの姿に大人も学んでいきたいものです。みなさんの実感として、または経験として、学校現場の年間100件よりも多くの差別発言が身の回りにあると感じている人もいるのではないのでしょうか。差別発言は学校現場でだけ起こっているのではなく、むしろみなさんの日常生活のなかにより多くあるのかも知れません。生徒たちの思いに学び、みなさんといっしょに1つずつ差別の火を見逃さずに消していきたいと思えます。よろしくお願ひします。

文責・橋本浩信

10月、11月の講演会や研修会の案内

- 10月6日(日) 伊賀市国際交流フェスタ2019 (10:00～) とれたて市ひぞっこ前駐車場
- 10月14日(月) 柘植地域人権啓発合同フィールドワーク(遠方) 三重県人権センターと松浦武四郎記念館
- 10月22日(火) 三重レインボープライド (11:00～) 青山ホール
- 10月25日(金) 2019 部落解放・人権大学講座 (19:30～21:00) ゆめぼりすセンター
「現代のソーシャルメディアを使用するわたしたちに必要の人権の視点とは」(中村尚生さん)
- 10月29日(火) ライトピアおおやまだ人権大学 (19:30～) ライトピアおおやまだ
「人権について」(北口末広さん)[近畿大学]
- 10月30日(水) 人権・同和問題地区別懇談会推進事業 中間報告会センター(柘植地域) (20:00) 柘植地区市民センター
- 11月1日(金) いがまち人権センター解放講座 (19:30～21:00) いがまち人権センター
「アイデンティティという視点から考える現代の部落問題(仮)」(内田龍史さん)
- 11月4日(月) 第1回県民人権講座 (13:30～16:30) 三重県人権センター
「県内外国人住民の状況」(北村文明さん)
「多文化共生時代に求められる地域での取り組み ～外国にルーツのある子どもの人権を中心に」(田村太郎さん)
- 11月14日(木) 青山文化センター人権・解放講座 (19:30～21:00) 青山文化センター
「高齢者問題とまちづくり」(山本周平さん)
- 11月15日(金) あやま人権フェスティバル2018 (19:00～) あやま文化センターさんさんホール
心の歌コンサート「あなたはあなたのままでそこに咲いてください」(山本かずみさん)
- 11月17日(日) 差別をなくす いがまちの集い (13:30～) あやま文化センターさんさんホール
「いま、人権・同和行政に問われていること」(炭谷茂さん)
- 11月19日(火) 2019 部落解放・人権大学講座 (19:30～21:00) ゆめぼりすセンター
「差別意識のカラクリは」(奥田均さん)
- 11月20日(水) 上野同和教育研究協議会第2回連続講座 (19:30～21:00) ハイトピア伊賀
「徳島県教組襲撃事件 ～ヘイトクライムとの闘い～」(冨田真由美さん)
- 11月23日(土) しまがはら人権のつどい (13:30～) 島ヶ原会館
「みんなが主役の未来へ」(服部亜龍さん)[フレンテみえ]
- 11月24日(日) おおやまだ人権フェスティバル (13:30～) 大山田農村環境改善センター
「命と時間のお話」(田中麻莉絵さん)
- 11月30日(土),12月1日(日) 第71回全国人権・同和教育研究大会 (津市)

10月の人権パネル展

- ◎ いがまち人権パネル展 「同和問題を解決するために歴史から学ぶこと」 いがまち人権センター
10月1日(火)～30日(水) 9:00～17:00 (土・日・祝日を除く)
- ◎ 寺田市民館「じんけん」パネル展 「かがやく子ども すべての子どもが主役」 寺田教育集会所
10月1日(火)～30日(水) 9:00～17:00 (土・日・祝日を除く)